

平成 15 年 2 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ポイント  
代表者 代表取締役社長 福田三千男  
(コード番号 2685 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 吉野明男  
(TEL: 03-5624-6011)

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社は、平成 18 年 2 月期を最終年度とする中期経営計画を下記のとおり策定いたしましたので、その概要につきましてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 策定の趣旨

当社を取り巻く外部環境は、長引く景気低迷による個人消費の不振、デフレによる低価格化指向、その結果、競争の激化等厳しいものとなっております。これらの外部環境の中で、当社は中間価格帯による自社企画商品を展開するブランド戦略を立ち上げております。

主力業態の「ローリーズファーム」は売上高 100 億円を達成し、またその運営ノウハウも確立いたしました。これに続く主力業態の「グローバルワーク」は、来期以降重点出店業態として成長を計画しております。さらに、顧客ニーズに合わせた多ブランド戦略も順調に推移しております。

ここにおいて当社は、改めて当社の優位性を出しつつ、積極的な事業展開を推進するべく、今後 3 年間の経営目標・指針となる中期経営計画を策定したものであります。

#### 2. 中期経営計画の概要

##### ブランド戦略

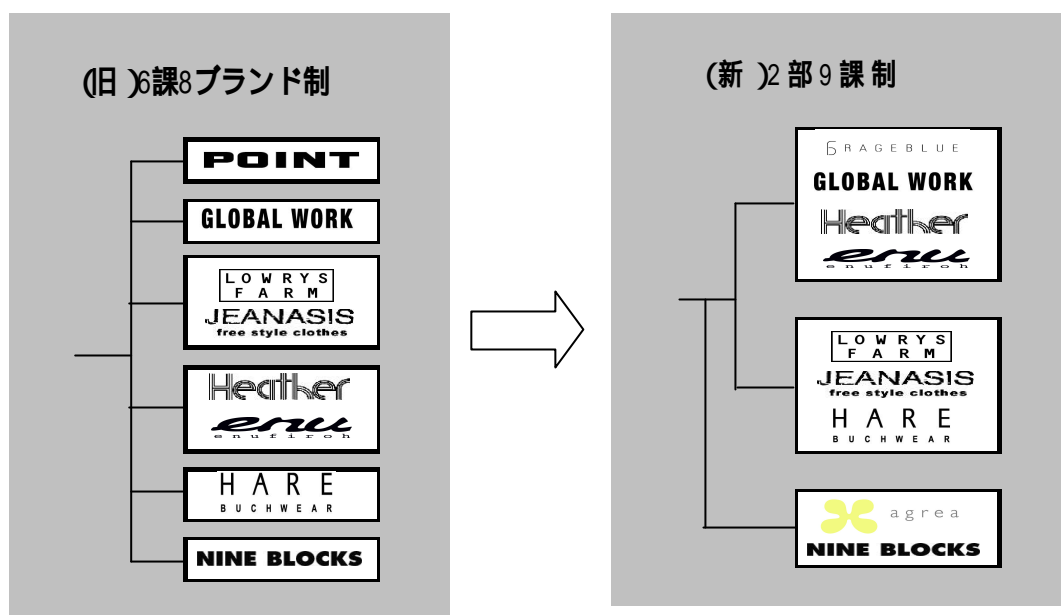
- ・ 年間 20%以上の売上高伸長を目指すため、「ローリーズファーム」の運営ノウハウを活かし、年商 100 億円の基幹ブランドを 3 業態まで育成を図る。
- ・ 既存ブランドからの新規ブランド開発を行い、顧客（市場）への密着を図る。
- ・ 既存店の移転・増床による店舗活性化を行い、ブランド成熟に対応を図る。
- ・ 海外展開を視野に置き、ローカルブランドからグローバルブランドへ脱皮を図る。

##### 経営力強化戦略

- ・ 店舗数増加によるスケールメリットを生かし、粗利益率及び営業利益率の向上を図る。
- ・ 優位な粗利益率により新規業態開発への投資を行い、業容の拡大を図る。
- ・ 東西物流センターの相互補完機能により、販売機会ロスを低減し売上高の安定化を図り、かつ、稼働率向上による物流コスト削減を図る。
- ・ 健全な財務バランスを保ち、強固な企業体質の構築を図る。

##### 組織力の強化

- ・ 意志決定の迅速化を行い、新規業態開発のノウハウや店舗情報・顧客情報について組織に集約を図るため、現状の 6 課 8 ブランド制から 2 部 9 課制に営業組織を変更する。



### 3. 利益計画及び経営指標

#### 利益計画

(単位：百万円)

	平成 14 年 2 月期 (実績)	平成 15 年 2 月期 (見通し) (注 1)	平成 18 年 2 月期 (計画)	3 カ年 伸び率
売上高	15,603	20,500	36,000	75.6%
営業利益	1,923	2,810	5,600	99.3%
経常利益	1,925	2,781	5,500	97.8%
当期純利益	730	1,504	3,000	99.5%
店舗数	114	151	330	118.5%

#### 経営指標

	平成 14 年 2 月期 (実績)	平成 15 年 2 月期 (見通し) (注 1)	平成 18 年 2 月期 (計画)
総資本経常利益率 (期末)	24.6%	22.0%	30.6%
株主資本利益率 (期末)	28.8%	25.9%	30.0%
総資本回転率 (期末)	1.9 回	1.7 回	2.0 回
株主資本比率 (期末)	32.4%	47.2%	55.6%
1 株利益 (期末株数)	97 円 (注 2)	178 円 (注 3)	222 円 (注 4)

(注) 1. 平成 15 年 2 月期見通しについては、平成 15 年 1 月 27 日付修正発表数値

2. 平成 14 年 4 月 19 日付株式分割 (1 : 2) 後の株数 7,454,800 株で計算

3. 平成 15 年 1 月末日の株数 8,531,600 株で計算

4. 平成 15 年 1 月末日の株数 + 潜在株 + 分割株数 (1 : 1.5) = 13,506,600 株で計算

算

以上